



わになって

幕別町発達支援センター

令和7年度
第4号

令和7年 10月 22日発行

朝夕の空気がぐっと冷たくなり、木々の葉も少しずつ色づき始めました。散歩や登下校の際に落ち葉を拾ったり、木の実を見つけたりと、秋ならではの遊びを楽しむ子どもの姿が見られます。学習発表会、ハロウィンや地域のお祭など行事の多いこの季節、十分な休息を取り、旬の食べものを食べて元気に過ごせるようにしたいですね。



発達支援講演会のお知らせ

日程 11月28日(金) 18:30~20:30

会場 札内コミュニティプラザ

託児あり

入場無料

「子どもの気持ちを知り 子育てをもっと楽しく！」

～発達を知れば 子育てが変わる～

をテーマに講演会をおこないます。札幌学院大学人文部准教授藤野友紀氏を講師に招き講演会をおこないます。お子さんの“発達”を知り、子育ての悩みについて一緒に考えてみませんか？

申し込みは 11月21日(金)までとなっています。詳細は別紙にてご確認ください。たくさんのご参加をお待ちしております。



アンケートのご協力

ありがとうございました

発達支援講演会について、センターを利用する保護者の皆さまにアンケートを取らせていただきました。たくさんのご意見をいただきありがとうございます。

多くの方々に足を運んでいただけたよう、皆様のご意見を今後の講演会に活かしていきます。

サポートファイル まっく・りんぐ



ライフステージに応じた切れ目のない支援を受けられるよう、保護者の方が記入・保管し、各関係機関と連携を図っていくためのファイルです。

お子さんの成長の様子、得意なこと・苦手なこと、成長の過程などを記入します。保育所や幼稚園、学校、発達支援センターなどで相談した内容や、検査結果をファイルしておくことで、必要な時にすぐに見返したり、説明したりできます。面談、個別支援計画の説明の際には必ずお持ちください。

子どもの育ちをささえる親の会(カラフル)

座談会を開催しました

9月25日に札内コミュニティプラザの和室にて、座談会を開催しました。お子さんに関する不安や悩みは尽きないもの…そんな日頃感じている思いや、共感して欲しいことなど気兼ねなく話せる場、“ここで話せて良かった”と思える憩いの場ともなっています。

次回は **11月4日(火)18:30**～札内コミュニティプラザ和室でおこないます。託児もありますので、興味のある方はぜひご参加ください！



座談会に参加した

保護者からの声

- ・学校別、学年別でお話できて、身近な意見が聞けてよかったです。
- ・子どもの今後に向けての参考になりました。
- ・託児もあり、また来たいです。
- ・たくさんお話を聞けて不安が減りました。
- ・まだまだ、皆さんの話を聞きたいです。
- ・途中で席替えがあって、いろいろな人と話せてよかったです。



OTコラム 『脳を育てる栄養【感覚】』

文：江波

今年度は3回に分けて作業療法士から見た子供の捉え方をお伝えしています。皆さまお待ちかね(?)の第2回は、脳を育てる栄養【感覚】についての話です。前回は、【気持ち】と【運動】と【脳】の成長はそれぞれに関係があるとお伝えしました。今回は、その中の【脳】の成長に欠かせない栄養の一つ【感覚】についてお話ししたいと思います。

【感覚】と聞くと、**視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚**の【5感】と言われるものを想像しますが、そこに**前庭覚**と**固有覚**を含めた【7感】が大切と言われています。この**前庭覚**と**固有覚**とはどういったものか簡単に説明します。

前庭覚: 体の傾き、回転、速さ、重力を感じる感覚のこと

固有覚: 自分の身体の位置、動き、力の入れ具合を感じる感覚のこと

要するに、バランスを取ったり、姿勢を保ったり、縄跳びや跳び箱をしたり、物や人との距離感をつかんだりするのに重要な役割を果たす感覚だと言われています。そして、抱っこやブランコで揺れたり、飛び跳ねたり、バランスを取るなどダイナミックな運動や活動でこれらの感覚に刺激が入ると言われています。

感覚(栄養)をたくさん摂るには、色々なものに触れたり、見たり、経験したりすることが大切だと言われています。

特に**前庭覚**と**固有覚**は身体を動かして経験することで脳にたくさん刺激(栄養)が送られます。その送られた栄養を脳の中で処理(吸収)することで脳が成長していきます。

この感覚に触れる機会が少ない(栄養失調)と、転びやすかったり、平均台や鉄棒を過度に怖がったり、椅子に座っていられなかったり…。

大切なのは、『**主体的に**』・『**身体を動かして**』・『**いろんな遊び**』をする経験です。

外遊びでは、風を感じ、自由に走り、時には転んで、安全に転ぶってとても大切です。小さい時から転ぶ経験をしているうちに、『転ばないように』や『安全に転べるように』脳が成長していきます。次回は3月にこのような話を中心に『感覚』と『運動』、『環境』についてお話ししたいと思います。

知りたい方、気になった方は小さなことでも「発達支援センター・江波」までご連絡ください。

親子で楽しもう!! ~今日からできる☆おうち遊び🏠

文：鎌田

色付いた木々のキレイな秋は、たくさん外に出て自然の中で、見て・聞いて・触れて、たくさん刺激を取り入れたい所ですが、寒くて出られないということもありますよね。そんな時には、お家の中で『風船遊び・新聞紙遊び』は、どうでしょう(*' 艸 `)

今回は、『風船遊び・新聞紙遊び』で、どんな力が育つか、お伝えしたいと思います！

風船遊び

風船のゆっくりした動きは、運動が苦手なお子さんでも、楽しめる遊びです(*^ω^*) 飛んでくる風船を目で追う・キャッチする・打ち返す動きは、手と目の協調性、動体視力、空間認識能力を養う運動能力の向上に加えて、協調性、社会性、集中力も育むことができます(*' 艸 `)。



新聞紙遊び

新聞紙を、ちぎる・破る・丸めるなどのシンプルな動きが、手先の巧緻性を高めます。ちぎる時の力の調整によって異なる音を楽しんだり、感触に触れることで、感性も養われます。広げると子どもの体と同じくらいの大きさになる新聞紙は、変幻自在な素材☆自由な発想で色々な形を作ることができて、想像力、発想力も育てられます(*' 艸 `)。



番外編～お散歩&公園でやってみよう(*^ 艸 ^*)!!

○木から落ちてくる葉っぱをキャッチしてみよう！よく見て、葉っぱとれるかな？

○落ちてくる葉っぱを踏んでみよう！たくさん集めて踏んだら、どんな音がするかな？

○色々な色のキレイな葉っぱを集めてみよう！葉っぱアートにしても楽しいし、ラミネートすると世界に1つだけの葉ができるよ！(*' 艸 `)

